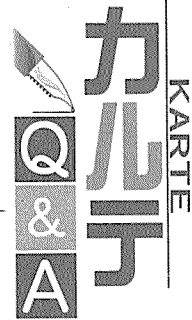


前立腺肥大症と診断されており、薬を飲むと、下腹部が気持ち悪くむずがゆい感じがしてたまりません。薬はセルニルトン錠(一般名・セルニチンポーレンエキス錠)、竜胆瀉肝湯エキス顆粒、ナフトピジルです。一向に良くならないのでアドバイスをお願いします。(58歳、男性)

## 前立腺肥大症



小田晃廉医師

前立腺は膀胱の下に尿道を取り巻くように存在し、加齢によって男性ホルモンのバランスが崩れて肥大すると言われています。前立腺が肥大す

## 細菌感染伴うなら抗菌薬を

ると尿道が圧迫され、頻尿、残尿感、排尿困難などの症状が出てきます。

慢性前立腺炎は、尿道から進入した細菌の前立腺への感染や、前立腺周囲の血流障害による慢性的な炎症などが原因とされています。仕事などで長時間座っている方、自転車やバイクでの会陰部への圧迫、ストレスや疲労、過度の飲酒、喫煙、冷えなども慢性

では、細菌感染を伴う場合は抗菌薬を使います。細菌感染を伴わないものでは前立腺の炎症を抑える生薬や漢方薬、お尻から指を挿入し直腸越しに前立腺を押し出す前立腺マッサージ、先述した慢性前立腺炎のリスクとなる生活習慣の改善などがあります。

相談者が現在内服されている薬のうち、ナフトピジルは尿道を広げる前立腺肥大症の治療薬、竜胆瀉肝湯とセルニルトンは主に前立腺の炎症を抑える治療薬となります。下腹部の気持ち悪さやむずがゆさという慢性前立腺炎の症状が主な場合は、細菌感染を伴っていることが疑われるのであれば抗菌薬での治療を、疑

(兵庫県泌尿器科医会、小田晃廉 神戸市灘区、小田泌尿器科)

◇第1、3、4日曜に掲載

また前立腺肥大症の方は、前立腺に炎症が起こる前立腺炎を併発していることがあります。前立腺炎には急性と慢性がありますが、下腹部の気持ち悪さやむずがゆさは主に慢性前立腺炎の症状になります。

慢性前立腺炎の治療法として、尿道を広げて尿の勢いを増すもの、前立腺への血流を良くし排尿症状を改善するもの、前立腺容積を小さくして物理的に圧迫を減らすものがあります。

慢性前立腺炎の治療法として、尿道を広げて尿の勢いを増すもの、前立腺への血流を良くし排尿症状を改善するもの、前立腺容積を小さくして物理的に圧迫を減らすものがあります。